2023 年度

学　　則

東 京 服 飾 専 門 学 校

東京服飾専門学校　学則

第　１　章　　総　　則

（目的）

第　１　条　　本校は服飾の学理と技術によって、職業若しくは実際生活に必要な能力を育成することを目的とする。

（名称）

第　２　条　　本校は、東京服飾専門学校という。

（位置）

第　３　条　　本校は、位置を東京都豊島区巣鴨１丁目１９番地７号に置く。

第　２　章　　課程及び学科、修業年限、定員並びに休業日

（課程、学科、修業年限、定員）

第　４　条　　本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

	学科名	修業年限（年）	定　員（名）	総定員（名）
服飾専門課程	アパレル造形科デザイナーコース	２	２０	４０
	アパレル造形科パタンナーコース	２	２０	４０
	スタイリスト科	２	５０	１００
	モデル科	１	１０	１０
	ファッションビジネス科	２	５０	１００
	アパレル技能科衣装製作コース	２	５０	１００
	専攻科	１	３０	３０
	合　計			４２０

（学年、学期の終始期）

第　５　条　　本校の学年及び学期は次のとおりとする。

学　　年	４月１日から翌年３月３１日まで
前期	４月７日から７月３１日まで
後期一	９月１日から１１月３０日まで
後期二	１２月１日から３月３１日まで

（休業日）

第　６　条　　本校の休業日は、次のとおりとする。

１．土曜日、日曜日

２．国民の祝日に関する法律で規定する休日

３．夏季休業　　７月２４日から８月３１日まで

４．冬季休業　　１２月２７日から１月９日まで

５．春季休業　　３月９日から４月４日まで

６．創立記念日　　５月２日

第　３　章　　教育課程、授業時数及び教職員組織

（教育課程、時間時数）

第　７　条　　本校の教育課程及び時間時数は、別表１のとおりとする。

（授業の終始期）

第　８　条　　本校の始業及び終業の時刻は次のとおりとする。

服飾専門課程は、午前１０時から午後４時迄

（教職員組織）

第　９　条　　本校に次の教職員を置く。

１．　理　事　長　１名

２．　校　長　１名

３．　教　　員　　２０名以上

４．　講　　師　　若干名

５．　事務職員　　若干名

理事長は校務をつかさどり所属教員を監督する。

第　４　章　　入学、休学、退学、卒業及び賞罰

（入学資格）

第　１０条　　本校の入学資格は次のとおりとする。

１．アパレル造形科デザイナーコース・アパレル造形科パタンナーコース・
スタイリスト科・モデル科・ファッションビジネス科
・アパレル技能科衣装製作コース
高等学校卒業以上の者又はこれと同程度以上の学力があると認められる者

２．専攻科
本校アパレル造形科及びアパレル技能科修了者又はこれと同程度以上の学力があると認められる者

（入学時期）

第　１１条　　本校の入学時期は毎年４月とする。

（入学手続許可）

第　１２条　　本校の入学手続は次のとおりとする。

１．本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書に必要事項を記載して、指定期日までに出願しなければならない。

２．前号の手続を終了した者に対し入学試験を行い、入学者を決定する。

３．本校に入学を許可された者は、入学許可の日から３週間以内に第２１条の入学金を添え手続きをとらなければならない。

（休復学）

第　１３条　　学生が疾病その他やむを得ない理由によって３０日以上休学する場合は、診断書およびその事由を紀し、理事長の許可を受けなければならない。休学を許可された者が復学しようとする場合は届けて復学することができる。

（自主退学）

第　１４条　　退学しようとする者は、その理由を紀し、理事長の許可を受けなければならない。

（転科）

第　１５条　　アパレル造形科デザイナーコース、アパレル造形科パタンナーコース、スタイリスト科、モデル科、ファッションビジネス科およびアパレル技能科衣装製作コースの１年次を修了した者は、２年次に進級する際自己が在籍する学科以外の学科へ転科することができる。ただし、転科を希望する者について試験を行い、進級する学科の１年次修了者と同程度以上の学力があると認められる者に限るものとする。

（卒業・修了の認定）

第　１６条　　校長は、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき学科目について試験を行ない、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。ただし、実習については、実習の成績によって修了を認定することができる。

（卒業）

第　１７条　　本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与する。

（称号の授与）

第　１８条　　前条に規定するところにより、アパレル造形科デザイナーコース、アパレル造形科パタンナーコース、スタイリスト科、ファッションビジネス科を修了した者は、専門士（服飾専門課程）と称することができる。

（褒章）

第　１９条　　成績優秀にして、他の模範となる者は、褒章することがある。

（退学）

第　２０条　　次の各号の１に該当する者には、退学を命ずることがある。

１．性行不良で改善の見込みがないと認められる者

２．学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

３．正当な理由がなくて出席が常でない者

４．学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第　５　章　　入学金、授業料、その他

（納付金）

第　２１条　　本校の入学金、授業料等は、次のとおりとする。

	科別＼費用	学年	入学金	授業料（年額）	維持費（年額）	学生諸費（年額）	材料費（年額）	総額
服飾専門課程	アパレル造形科デザイナーコース	1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
		2	－	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
	アパレル造形科パタンナーコース	1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
		2	－	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
	スタイリスト科	1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
		2	－	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
	モデル科	1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
	ファッションビジネス科	1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
		2	－	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
	アパレル技能科衣装製作コース	1	150,000	580,000	110,000	50,000	160,000	1,050,000
		2	－	580,000	110,000	50,000	130,000	870,000
	専攻科	3	－	290,000	110,000	50,000	130,000	580,000

（学費の納入）

第　２２条　　一度納入した学費は、入学辞退者を除き、原則として返金しない。学費の納入は、全額を年２回に分納することができる。

（健康診断）

第 ２３条　　健康診断は、毎年１回、別に定めるところにより実施する。

（細則の制定）

第 ２４条　　この学則の実施に必要な細則は、理事長が定める。

付　　則

１．この学則は平成 6 年 4 月 1 日より施行する。

２．この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付　　則

１．この学則は平成 7 年 4 月 1 日より施行する。

２．この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付　　則

１．この学則は平成 12 年 4 月 1 日より施行する。

２．この学則実施に必要な細則は校長が定める。

３．ただし、第 17 条については、平成 12 年 2 月 8 日より施行する。

付　　則

１．この学則は平成 14 年 4 月 1 日より施行する。

２．この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付　　則

１．この学則は平成 17 年 4 月 1 日より施行する。

２．この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付　　則

１．この学則は平成 21 年 4 月 1 日より施行する。

平成２０年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。

２．この学則実施に必要な細則は校長が定める。

付　　則

１．この学則は平成 21 年 4 月 1 日より施行する。

付　　則

1．この学則は平成 22 年 4 月 1 日より施行する。

付　　則

１．この学則は平成 29 年 4 月 1 日より施行する。

付　　則

１．この学則は平成 30 年 4 月 1 日より施行する。

付　　則

1. この学則は平成 31 年 4 月 1 日より施行する。
2. ただし、第 9 条 1 については令和元年 5 月 1 日より施行する。

付　　則

1. この学則は令和 2 年 4 月 1 日より施行する。

付　　則

1. この学則は令和 3 年 4 月 1 日より施行する。
2. ただし、第 9 条 1 については令和 3 年 5 月 1 日より施行する。

付　　則

1. この学則は令和 4 年 4 月 1 日より施行する。

付　　則

1. この学則は令和 5 年 4 月 1 日より施行する。

別表１

【アパレル造形科デザイナーコース】

分類 必修	分類 選択必修	分類 自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法 講義	授業方法 演習	授業方法 実験・実習・実技	場所 校内	場所 校外	教員 専任	教員 兼任	企業等との連携	実務経験のある教員による授業
○			ベーシックドローイング	デッサン、クロッキーからスタイル画表現力。 コンセプトからデザイン構成力と表現基礎。	1・前期	35				○	○		○			○
○			ベーシックデザイン	アイデア、インスピレーションの膨らませかた。 コンセプトやテーマの建て方とデザインとしての表現力と、合わせてプレゼンテーションについて学ぶ。	1・後期	52.5				○	○		○			○
○			トレンド分析・商品企画	マーケット、ブランドの分析方法、商品企画能力を学ぶ	1・通年	95		○			○			○		○
○			Mac演習Ⅰ	Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの初～中級 操作と実践、パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール作成　各ソフトウェアの連動 操作取得	1・通年	87.5			○		○		○			○
○			ドレーピング	平面製図でおこしておいたものを、立体ボディーを使用し、実際の布（シーチング）をあてダーツをとる事によって、実際のフォルムに合わせていきパターンの仕組みを理解する。	1・通年	95				○	○		○			○
○			カラー	色彩学、AFT色彩検定受験対策	1・前期	35		○			○			○		○
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を理解し、製作、販売、衣生活に役立てる。 素材組成から各種素材、織、柄名称、素材加工、取り扱いケア	1・後期	57.5		○			○		○			○
○			服飾技術実習	平面で製図したものが、用布を裁断・縫い合わせ・立体化して着用する服となっていく工程の理解と縫製仕様の習得	1・通年	375				○	○		○			○
○			服飾史	古代から現代までの洋服の歴史を知る。 素材から形まで	1・前期	35		○			○		○			○
○			就職ガイダンス	就職に関する基本姿勢を醸成、 対応策についてガイダンス	1・後期	57.5		○			○		○			○
○			産学連携実習	企業の仕事についての理解を深めるため企業と連携して実践的な課題に取り組むことで、アパレル業界で必要となる知識や経験を得る。	2・通年	175		○		○	○	△	○		○	○
○			デザインドローイング	テーマや素材、世にある優れたデザインに目を向け 想像応用力（コンテスト）を養う。 コンセプト、デザインストーリーの構築を理解する。	2・通年	95				○	○		○			○
○			デザインワーク	クリエーション（ART）の追求をファッションとしての表現として探求することで（非プロダクトデザイン）、デザインの目的（プロダクトと１作品しての関係）を理解し、合わせてコンセプトやデザインのストーリー構築を理解する。	2・通年	92.5				○	○		○			○
○			服飾造形実習	デザイン力強化を目的とした、作品製作、 パターン演習	2・前後期Ⅰ	265				○	○		○			○
○			就職キャリアデザイン	自己理解、仕事理解を通して自分のキャリア 形成を考える	2・前期	35		○			○		○			○
○			卒業制作ファッションショー 制作実習	卒業修了ショーに向けた作品テーマ、カテゴリー 企画。グループワーク。	2・前期	35				○	○		○			○
○			卒業製作実習	個別作品制作、卒業制作試作	2・後期Ⅱ	82.5				○	○		○			○
○			SNSマーケティング	SNSで会社やフリーランスでの仕事で必要な活用方法を学ぶ。 アカウントの開設から運用方法を学び、集客やブランディング方法、各SNSの特徴を理解する。	2・後期Ⅱ	27.5		○			○		○			○
○			Mac演習Ⅱ	Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの中～上級 操作と実践、パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール作成　各ソフトウェアの連動 操作取得	2・後期	57.5			○		○		○			○
○			ＰＣワーク	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方の習得。 Powerpointを使って効果的なプレゼンテーションを行うことの習得を目指す。	2・後期	60			○		○		○			○
合計				２０科目		1,850単位時間（　　単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
1700時間以上の履修時間を修めていること、及び各科目の総合評価が6以上であること。	１学年の学期区分	３期
	１学期の授業期間	平均13週

【アパレル造形科パタンナーコース】

分類 必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法 講義	演習	実験・実習・実技	場所 校内	校外	教員 専任	兼任	企業等との連携	実務経験のある教員による授業
○			ベーシックドローイング	デッサン、クロッキーからスタイル画表現力。 コンセプトからデザイン構成力と表現基礎。	1・前期	35				○	○		○			○
○			ベーシックデザイン	アイデア、インスピレーションの膨らませかた。 コンセプトやテーマの建て方とデザインとしての 表現力と、合わせてプレゼンテーションについて学ぶ。	1・後期	52.5				○	○		○			○
○			トレンド分析・商品企画	マーケット、ブランドの分析方法、商品企画能力を学ぶ	1・通年	95		○			○			○		○
○			Mac演習	Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの初～中級 操作と実践、パワーポイントを使ったプレゼン テーションツール作成　各ソフトウェアの連動 操作取得	1・通年	87.5			○		○		○			○
○			ドレーピングⅠ	平面製図でおこしておいたものを、立体ボディー を使用し、実際の布（シーチング）をあてダーツ をとる事によって、実際のフォルムに合わせて いきパターンの仕組みを理解する。	1・通年	95				○	○		○			○
○			カラー	色彩学、AFT色彩検定受験対策	1・前期	35		○			○			○		○
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を 理解し、製作、販売、衣生活に役立てる。 素材組成から各種素材、織、柄名称、素材加工、 取り扱いケア	1・後期	57.5		○			○		○			○
○			服飾技術実習	平面で製図したものが、用布を裁断・縫い合わせ ・立体化して着用する服となっていく工程の 理解と縫製仕様の習得	1・通年	375				○	○		○			○
○			服飾史	古代から現代までの洋服の歴史を知る。 素材から形まで	1・前期	35		○			○		○			○
○			就職ガイダンス	就職に関する基本姿勢を醸成、 対応策についてガイダンス	1・後期	57.5		○			○		○			○
○			産学連携実習	企業の仕事についての理解を深めるため企業と連携して 実践的な課題に取り組むことで、アパレル業界で必要と なる知識や経験を得る。	2・通年	175		○		○	○	△	○		○	○
○			アパレルＣＡＤ	CADキーボードのショートカットキーを覚え ながら、軽衣料の製図をし、完成パターンを 作成していく。CADの基本操作を習得する。	2・通年	95				○	○		○			○
○			工業パターン実習	平面製図、立体裁断の技術実習。製品製図とグレー ディング。パターン検定試験３級取得対応	2・通年	92.5				○	○		○			○
○			ドレーピングⅡ	ドレーピング基礎の復習。 ブラウスやワンピースのドレーピング応用	2・後期	57.5				○	○		○			○
○			服飾造形実習	デザイン力強化を目的とした、作品製作、 パターン演習	2・前後期Ⅰ	265				○	○		○			○
○			就職キャリアデザイン	自己理解、仕事理解を通して自分のキャリア 形成を考える	2・前期	35		○			○		○			○
○			卒業制作ファッションショー 制作実習	卒業修了ショーに向けた作品テーマ、カテゴリー 企画。グループワーク。	2・前期	35				○	○		○			○
○			SNSマーケティング	SNSで会社やフリーランスでの仕事で必要な活用方法を学 ぶ。 アカウントの開設から運用方法を学び、集客やブラン ディング方法、各SNSの特徴を理解する。	2・後期Ⅱ	27.5		○			○		○			○
○			卒業製作実習	個別作品制作、卒業制作試作	2・後期Ⅱ	82.5				○	○		○			○
○			ＰＣワーク	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト （Word・Excel・Powerpoint）の使い方の習得。 Powerpointを使って効果的なプレゼンテーション を行うことの習得を目指す。	2・後期	60			○		○		○			○
合計				２０科目		1850単位時間（　　単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
1700時間以上の履修時間を修めていること、及び各科目の総合評価が6以上であること。	１学年の学期区分	３期
	１学期の授業期間	平均13週

【スタイリスト科】

分類 必修	分類 選択必修	分類 自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法 講義	授業方法 演習	授業方法 実験・実習・実技	場所 校内	場所 校外	教員 専任	教員 兼任	企業等との連携	実務経験のある教員による授業
○			ヘアメイク	ヘアスタイリングの基礎・基本を学ぶ。	1・後期Ⅱ	27.5				○	○			○		○
○			メイクアップ	フルメイクの為の基礎テクニックの習得。 ステージメイクにも応用出来るテクニックの習得。 将来の職種にリンクする、就職活動や社会人として通用する 自身の身嗜みとして役立てる。	1・後期Ⅰ	27.5				○	○			○		○
○			英会話	日常英会話	1・後期Ⅱ	25			○		○			○		○
○			Ｍａｃ演習	Macパソコンを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの初～中級操作と実践、 パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール作成	1・通年	95			○		○		○			○
○			スタイリスト実習Ⅰ	スタイリストアシスタントとしての基礎知識と 基本技術	1・通年	95				○	○			○		○
○			スタイリング コーディネート実習	スタイリングをする上でのベースとなる基礎知識を様々な 角度から獲得。実践によってコンセプトに基づいたスタイ リングをする能力を高める。	1・通年	95				○	○			○		○
○			マスメディア論	ファッション業界におけるメディアの成り立ちとその役割 を知る。雑誌を題材に記事作成の実作業を行うことで、 その流れを理解する。	1・後期Ⅱ	27.5		○			○		○			○
○			デザイン＆スタイル画	クロッキー、スタイル画製作、テーマやコンセプト メイキング。	1・前後期Ⅰ	67.5				○	○		○			○
○			カメラワーク	現場での様々なシュチュエーションに対応出来る 基礎知識の習得	1・前期	35				○	○	△	○			
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を理解し、 製作、販売、衣生活に役立てる。	1・後期	57.5		○			○		○			○
○			服飾史	古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材から形、 構造まで。	1・前期	35		○			○		○			○
○			カラー	色彩検定対策	1・前期	35		○			○			○		○
○			ＰＣワーク	Windowsマシンの使用方法とビジネスソフト （Word、Excel等）の使ったビジネス文書の作成。 簡易な関数を使った、請求書や在庫管理表、年間売上表の作成	1・後期	57.5			○		○		○			○
○			業界概論	ファッション業界について、ブランドや企業、関係職種などに ついて幅広く学びます。	1・前期	35		○			○		○			○
○			服飾技術実習	現場で必要な手縫い・縫製の知識を学び、 技術を習得する。作品製作	1・通年	87.5				○	○			○		○
○			商品知識	ファッションアイテムに関する知識を身につけます。	1・後期Ⅰ	30		○			○			○		○
○			ファッションスタイル論	服が好きだという気持ちを核に知識の習得。 服（衣装）ケア・服を大事にするということ。 研修に向けて自信を持たせる。	1・通年	92.5		○			○			○		○
○			衣装デザイン	オリジナルのデザインの衣服を製作する。 生地を選びカスタマイズ、サイズアレンジなどのデザイン技術を習得す る。	2・通年	175				○	○		○			○
○			商品・ライフスタイル研究	インテリアを含む生活様式を研究する	2・通年	92.5		○			○		○			○
	○		スタイリスト実習Ⅱ	洋服に対しての知識、スタイリストアシスタントとしての 即実践に繋がるスキル	2・通年	190				○	○			○		○
○			デザインクリエーション	課題やコンテスト出展を通してオーダーを理解し、クライアントからの 要望を的確に捉えるデザインスキルを身につける。	2・後期	60				○	○		○			○
	○		ショップ起業実習	０からの企画／生産／実店舗運営演習＆実習	2・通年	95				○	○	○	○			○
	○		ファッションビジネス概論	ファッションビジネス能力検定3級取得に向けて、ファションビジネス 知識全般を学ぶ。	2・通年	95		○			○			○		○
○			ショー制作演習	卒業制作ファッションションショーの企画運営	2・前期	35			○		○		○			○
○			ポートフォリオ	スタイリスト独立までに必要な作品撮り製作を学ぶ。 作品撮り製作を通して、感性や表現力の向上、世界観の追求を測る。	2・後期Ⅱ	27.5				○	○		○			○
○			スタイリング実習	ファッション業界人として必要な代表的スタイルに関する 知識を深める。それを現代的なスタイリングに落とし込む 実践を通して、創意工夫の能力を育てる。	2・通年	95				○	○			○		○
○			研修／キャリアデザイン	就職に向けたスタイリスト、企業研究	2・前後Ⅰ	65		○			○		○		○	○
○			卒業制作ファッションショー 制作実習	卒業制作ファッションショーに向けた準備・企画立案・実行	2・後期	115				○	○		○			○
○			ＳＮＳ・マーケティング	SNSで会社やフリーランスでの仕事で必要な活用方法を学ぶ。	2・前期	35				○	○		○			
○			就職キャリアデザイン	自己理解、仕事理解を通して自分のキャリア形成を考える	2・前期	35		○			○		○			○

合計	３０科目	1850単位時間（　　単位）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
1700時間以上の履修時間を修めていること、及び各科目の総合評価が6以上であること。	１学年の学期区分	３期
	１学期の授業期間	平均13週

【モデル科】

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員による授業
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			プロポーション美学	モデルに仕事を理解し自ら必要な日々の取り組みを知る。モデルとして様々なイメージを理解し表現することができる。撮影を通じポートフォリオを作成する。	1・前後期Ⅰ	62.5			○		○			○		○
○			PCワーク	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方を習得する。	1・前後期Ⅱ	62.5			○		○		○			○
○			英会話	日常英会話	1・後期Ⅱ	25		○			○			○		○
○			演技実習	はっきりと聞き取れる発音（発声・滑舌）と、 感情豊かに演技できる基礎力をつくる 自己を客観視し、セルフプロデュースできる力を 身に付ける	1・通年	87.5				○	○			○		○
○			ウォーキング＆ ポージング	正しい姿勢と美しい歩き方、ポージングを 身に付けて、一生の財産となる「美」に関する ノウハウを習得する。	1・通年	190				○	○			○		○
○			フォトセッション	正しい姿勢と美しい歩き方、ポージングを 身に付けて、一生の財産となる「美」に関する ノウハウを習得する。	1・通年	95				○	○	○	○	○		○
○			ダンスレッスン	ダンスの基礎から応用まで、幅広く習う事に よって、身体で表現する事の喜びや、基礎身体 能力をのばす。	1・通年	92.5				○	○			○		○
○			栄養学	栄養学の基礎を理解し、習得した知識を日常の 食生活で実践できるようにする。また、モデル としての体型形成および維持と健康管理に習得 した知識を活用できるようにする。	1・通年	92.5		○		○	○	○		○		○
○			オーディション対策	オーディションへのエントリー、 ならびに準備と対策	1・後期	57.5		○		○	○	○	○			○
○			映像表現	授業で行う映像制作の工程を全て、モデルとしての成長と関連付けられるように目指す。	1・通年	92.5		○		○	○	○		○		○
○			カメラワーク	現場での様々なシュチュエーションに対応出来る 基礎知識の習得	1・前期	35				○	○	○	○			
○			ヘアメイク	ヘアメイクによる印象の変化、みせ方を学ぶ 自分自身でみせたい印象となるヘアスタイリングとメイクアップテクニックを学ぶ	1・後期Ⅰ	32.5				○	○			○		○
合計				１２科目		925単位時間（　　単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各科目の出席単位時間が75%以上であること、各科目の総合評価が６以上であること。	１学年の学期区分	３期
	１学期の授業期間	平均13週

【ファッションビジネス科】

分類 必修	分類 選択必修	分類 自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法 講義	授業方法 演習	授業方法 実験・実習・実技	場所 校内	場所 校外	教員 専任	教員 兼任	企業等との連携	実務経験のある教員による授業
○			カラー	色彩学、AFT色彩検定受験対策	1・前期	35		○			○			○		○
○			ヘアメイク	ヘアメイクアレンジ技術習得 ヘアスタイリングの基礎・基本を学ぶ。	1・前期	35				○	○			○		○
○			メイクアップ	フルメイクの為の基礎テクニックの習得。 ショー等のステージメイク応用テクニック 将来の職種精通した知識、技術を養う。 就職活動、自身の身嗜みとして役立てる。	1・後期Ⅰ	27.5				○	○			○		○
○			ＰＣワーク	Windows Wordビジネス文書の作成。 Excel簡易な関数、請求書や在庫管理表、年間売上表 ビジネスメールの送受信方法などのPC操作の解説。	1・通年	92.5			○		○		○			○
○			英会話	グローバルコミュニケーション ネイティブ講師による、日常ビジネス英会話	1・後期Ⅱ	25			○		○			○		○
○			カメラワーク	写真撮影についての基礎知識の習得。 PR方法として有効な写真撮影についての基礎知識と 人物、物撮り基本撮影技法の習得 自己表現力の強化	1・前期	35				○	○	△	○			○
○			服飾史	古代ギリシャから、中世ヨーロッパ ２０世紀ファッションまで	1・前期	35		○			○		○			○
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を 理解し、製作、販売、衣生活に役立てる。 素材組成から各種素材、織、柄名称、素材加工、 取り扱いケア	1・後期	57.5		○			○		○			○
○			服飾技術実習	基本的なお直しや服の構造などについて、実際にミシン などを使い製作物を通して学びます。	1・通年	87.5				○	○			○		○
○			ファッションビジネス概論	アパレルにおける商品の知識取得とビジネス検定対策 （商品アイテム名称、部分名称、使用名称）	1・通年	92.5		○			○		○			○
○			Ｍａｃ演習	Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの初～中級操作と 実践、パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール 作成	1・通年	95			○		○		○			○
○			パーソナルコーディネート	スタイリングの組み方、アイテム用語、感情表現、 ストーリー構築　色や生地の組み合わせ方など一連の 流れを学ぶ	1・通年	95		○		○	○			○		○
○			トレンド・商品知識	トレンドの仕組み、毎シーズンごとのトレンド分析、実店舗での 展開商材分析。トレンドアイテムから業界の流れを汲み取る	1・後期	60		○			○		○			○
○			就職ガイダンス	就職へ向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的 な流れ・知識を身につける。 自己分析を行い、志望職種や志望企業を定める。	1・後期	57.5		○			○		○			○
○			ショップ起業実習	ショッププロデュースに関してコンセプトワークから ターゲット設定、そして商品企画制作仕入れを経験し、 実店舗運営までの一連の流れを学生達に経験させる	1・通年	95				○	○	○		○		
○			産学連携実習	プロモーション計画（WEBその他）を立案し、企画書に 取りまとめて企業様へ提出。 企業担当者様に選考して頂き、選抜作品をプレゼン テーションさせて頂き、ご評価頂く。	2・通年	185		○		○	○	△	○	△	○	○
○			販売実務演習	接客応対マナー、販売・経営管理、VMD技術の習得 ロールプレイング実習	2・前期	35			○		○			○		○
○			マーケティング	販促プランの立案などを実際の例を元に知見を高め、 プロジェクトを企画します。	2・通年	95		○			○			○		○
○			ＳＮＳ/ Ｗｅｂマーケティング・ＥＣ演習	広告、SNS、SEOなどのWEBマーケティングの種類と各特色 を理解し、効果的な運用を行える力を身につける。 各素材を作成するために必要な撮影、PCスキルの向上を目指す。	2・通年	87.5			○		○		○	○		○
○			販売士	アパレル・ファッション業界で多様化した顧客ニーズを的確に捉 え、豊富な商品知識や接客技術を武器に、顧客に合った商品を提供 できることを目標に学ぶ	2・後期	60		○			○		○			○
○			ＭＤ論	マーチャンダイザーの業務内容・役割・KPI達成など基礎知識から 実際の店舗での環境観察（プライス・VMD・購入客等）を通した 実務を想定する口	2・通年	95			○		○		○			○
○			ファッションジャーナリズム	ファッション雑誌についての造詣を深める講義を行うとともに、 実際に学生たちが自分の手によって、雑誌のページ制作を行う。	2・通年	87.5		○			○			○		○
○			プレス実習	ファッション業界に置けるプレス・PRの職種知識取得と 資料作成及び実践 他の職種にも通用するためのトレンドキャッチ・ コミュニケーション能力と効果的なプレゼンテーション ツール作成。店頭を始めとするVP知識と技術取得	2・後期Ⅱ	27.5				○	○		○			○
○			バイヤー演習	バイヤーの位置付けや仕組みを理解し、実績方法を学ぶ	2・前後期Ⅰ	67.5			○		○		○			○
○			就職キャリアデザイン	自己理解、仕事理解を通して自分のキャリア形成を考える	2・前期	35		○			○		○			○
○			ショー制作演習	卒業修了ファッションショー企画運営進行準備 ＆実習	2・前期	35			○		○		○	△		○
○			卒業制作ファッションショー 制作実習	２年間学んだ事を活かし卒業制作ファッション・ショーの 演出企画、運営を遂行しつつ各々リーダーシップ、チーム ワーク、コミュニケーション、企画立案、リスク マネジメント、予算管理能力などを修得する。	2・後期	115				○	○		○			○
合計				２７科目		1850単位時間（　　単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
1700時間以上の履修時間を修めていること、及び各科目の総合評価が6以上であること。	１学年の学期区分	３期
	１学期の授業期間	平均13週

【アパレル技能科衣装製作コース】

分類 必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法 講義	演習	実験・実習・実技	場所 校内	校外	教員 専任	兼任	企業等との連携	実務経験のある教員による授業
○			ベーシックドローイング	デッサンを通して表現力、想像力の育成から 実務に則したスタイル画を基本とした描画表現力を身につける。	1・前期	35				○	○		○			○
○			カラー	AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、3級の取得を目指す ことを主目的とし、実務にむけた イメージに合わせた カラーコーディネート、パーソナルカラー(人それぞれに 似合う色)概論を学ぶ。	1・前期	35		○			○			○		○
○			ファッション素材学	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を 理解し、製作、販売、衣生活に役立てる。 素材組成から各種素材、織、柄名称、素材加工、 取り扱いケア	1・後期	57.5		○			○		○			○
○			服飾技術実習	平面で製図したものが、用布を裁断・縫い合わせ ・立体化して着用する服となっていく工程の理解 と縫製仕様の習得	1・通年	470				○	○		○			○
○			ドレーピング	平面製図でおこしておいたものを、立体ボディー を使用し、実際の布（シーチング）をあてダーツ をとる事によって、実際のフォルムに合わせて いきパターンの仕組みを理解する。	1・通年	87.5				○	○		○			○
○			服飾史	古代から現代までの洋服の歴史を知る。 素材から形まで	1・前期	35		○			○		○			○
○			就職ガイダンス	就職に関する基本姿勢を醸成、対応策について ガイダンス	1・後期	57.5		○			○		○			○
○			ベーシックデザイン	想像力、造形的バランス感覚を身につけ 自身のクリエーションについて、プレゼンテーション力を養う。	1・後期	52.5			○		○		○			○
○			Ｍａｃ演習	Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップの初～中級 操作と実践、パワーポイントを使ったプレゼン テーションツール作成　各ソフトウェアの 連動操作取得	1・通年	95			○		○		○			○
○			テクニカル工芸	立体スモッキング・つまみ細工・革花・装花 コルセット／帽子／編み物　装飾テクニック習得	2・通年	87.5				○	○			○		○
○			産学連携実習	服飾の企画・製造・販売を行なっている企業との連携。	2・通年	87.5		○		○	○	○	○		○	○
○			卒業製作実習	卒業制作ファッションショー衣装制作 衣装のフォルム、バランス感覚を掴む	2・後期Ⅱ	110				○	○		○			○
○			服飾製図	アイテム製図、制作構成　素材の適応性を学ぶ また、軽衣料　中衣料、重衣料の製図を順番に学ぶ事で理解を 深め、応用力を付ける	2・通年	185				○	○		○			○
○			就職キャリアデザイン	自己理解、仕事理解を通して自分のキャリア形成を考える	2・前期	35		○			○		○			○
○			卒業制作ファッションショー 制作実習	卒業修了ショーに向けた作品テーマ、 カテゴリー企画。グループワーク。	2・前期	35				○	○		○			○
○			衣装製作実習	衣装製作者、衣装デザイナーとしてのスキルを磨く 衣装のフォルム、バランス感覚を掴む	2・前後期Ⅰ	235				○	○		○			○
○			デザインワーク	想像力、造形的バランス感覚を身につける。	2・通年	92.5				○	○		○			○
○			ＰＣワーク	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト （Word・Excel・Powerpoint）の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使った文章作成技術を習得。 Excelを使って表やグラフの作成技術を習得。 Powerpointを使ってプレゼンデータを作成し、効果的なプレゼンテー ションを行うことを目指す。	2・後期	57.5			○		○		○			○
合計				１８科目				1,850単位時間（　　単位）								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
1700時間以上の履修時間を修めていること、及び各科目の総合評価が6以上であること。	１学年の学期区分	３期
	１学期の授業期間	平均13週

【専攻科】

分類 必修	分類 選択必修	分類 自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法 講義	授業方法 演習	授業方法 実験・実習・実技	場所 校内	場所 校外	教員 専任	教員 兼任	企業等との連携	実務経験のある教員による授業
○			産学連携実習	企業の仕事についての理解を深めるため企業と連携して実践的な課題に取り組むことで、アパレル業界で必要となる知識や経験を得る。	通年	87.5		○		○	○	△	○		○	○
○			デザインクリエーション	広義的なファッションを学び、デザイン性の根源を模索する。イメージを言語やビジュアルで具現化し、デザイン力を高める。	通年	92.5				○	○		○			○
○			高度造形実習	デザインの完成度及び表現力の向上 シルエット、全体のバランスを考える 異素材の研究	通年	95				○	○		○			○
○			卒業制作ファションショー制作実習	ファッションショーのテーマ及びカテゴリー名を考える。衣装デザインを準備する。	前期	35				○	○		○			○
○			パターン製図	より高度な製図・立体技法を用いて、複雑かつ美しいフォルムの研究を行う。 多種類素材の扱い、技法の研究を行う。	通年	95				○	○			○		○
○			素材学	素材、生地を知る。 織る、編む、刺すのテクニックを知る。 生地の加工など。	後期	57.5		○			○		○			○
○			制作実習	研究活動制作	通年	462.5			○	○	○		○			○
合計				7科目		925単位時間(　　単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各科目の出席単位時間が75%以上であること、および各科目の総合評価が６以上であること。	１学年の学期区分	３期
	１学期の授業期間	平均13週